

鑑絵の写真厳選200枚

蔵の壁にある浮き彫り風の鑑絵を茅野市、草土真町、原村で訪ね歩き、写真に収めてきた同市豊平の芦田眞美さん(64)が写真集「左官の心気」ハケ岳山麓・鑑絵を自費出版した。足かけ4年間で撮影した約2200枚から、厳選した約200枚を掲載。あまり知られていなかった地元の左官職人の仕事ぶりに光を当てている。

鑑絵は左官職人が施主へのお礼などで土蔵などの壁に描いた物で、絵柄は鶴や亀など縁起物が多い。兵庫県出身の芦田さんは茅野市内に別荘があり、鑑絵を知って興味を持ち、退職後の2008年から本格的に3市町村の蔵を訪ね歩くようになった。

写真集ではまず、同市出身の名



工とされる小川天香(1878-1950年)ら20人の左官職人ごとにそれぞれ数点の作品を紹介。大黒天や恵比寿天、鶴、亀、コイの漣登りなど、図鑑のように絵柄別でも掲載した。茅野市北山湯川の民家で蔵が建てられ、壁に鑑絵が作られる様子を、昨年5月からことし9月にかけて撮り続け、順番に並べた草もある。

数多く見してきた鑑絵の中で、恵比寿天と大黒天が窓枠を担いでいる作品など特に気に入った10点を「見たい鑑絵厳選10選」として紹介。他に、蔵は取り壊したが、鑑絵は家の中で大切に保管している例も掲載した。写真を掲載した鑑絵のある蔵の場所が分かる分布図も付けている。

芦田さんは「鑑絵はこれまで詳しく調べられてこなかったが、地元の貴重な財産。左官職人の技術を多くの人に知ってほしい」と話している。

写真集はB5判で97頁、3000円。平安堂茅野店や今井書店(茅野市、草土真町)などで購入できる。

ハケ岳山麓の蔵にある鑑絵の写真集を出した芦田さん

茅野の芦田さん 自費出版 地元左官職人の仕事に光

「目指して国が始めた。大手企

諏訪赤十字病院 新棟が完成

がん治療外来と健診センター設置



諏訪市湖岸通りの諏訪赤十字病院の新棟が完成し、12日、竣工検査で病院関係者が新棟を見学した。新棟にはがん専門の「通院治療センター」と人間ドックを行う「健診センター」を置く。26日に竣工式を行い、29日まで受け入れ人数を限定して事前運用し、来年1月4日に本格的な業務を開始する。

新棟は本館正室で、鉄筋コンクリート階建て延べ約2000坪。建設費は約1億5000万円。1階に抗がん剤外来化学療法室、ベッドは現在の2倍に増やした。診療人相談支援センターや家族らが情報「ピアサポート」設。増えている。

もやっと茅野

茅野市ちの上原の上川に12羽のゴハクチョウが飛来

